

# ふれあいKAWACHIネット



第97号 令和5年12月  
発行：河内教育事務所  
ふれあい学習課  
後援：宇河地区生涯学習研究会

## デジタル環境の整備（宇都宮市）

宇都宮市では、学習や活動に取り組める環境整備の一環として、Wi-Fiルーターを市内の生涯学習センターに配備するとともに、タブレットの貸出を行っています。

生涯学習センターでは、Wi-Fiを活用して実際に通信しながら操作方法を学ぶスマホ講座を開催するほか、WEB会議の開催やネットを活用した学習支援が行えるようになり、生涯学習センターにおける活動の幅が広がっています。

また、自治会などの会議においては、タブレットを活用し、会議資料のペーパーレス化を図っています。はじめは、デジタル機器の操作に不慣れな方も多く、通常どおり会議が運営できるか懸念されていましたが、利用者同士で操作を教え合う場面もあり、大きな混乱なく会議が運営でき、委員同士の交流も図ることができました。

生涯学習センターは学習にかかわる全ての人が利用できる施設であり、社会全体のデジタル化にあわせ、デジタル技術を取り入れ、より身近で便利な施設になるよう取り組んでまいりますので、是非生涯学習センターを御利用ください。

## 地域未来塾（上三川町）

上三川町では、中学生の学びの機会を広げ、基礎学力の定着や学習習慣の確立を図ることを目的に、従来実施していた学習サポート事業をより進化させた**地域未来塾事業**を今年度からスタートしました。これまで町内の図書館のみで開催していた学びの機会を各中学校で開催することで、町内の生徒がより参加しやすい環境を整えました。地域の皆様に協力を得ながら放課後や長期休みに開催しております。学校ごとに参加する生徒数は異なりますが、概ね10～20人の生徒が参加し、自主学習を主として真剣に学習を進めています。わからない箇所を教員OB・OGである学習支援員に質問することで学びを深めています。

これからも、各学校に合わせた地域未来塾の開催に努めます。



## 河内地区社会教育主事ステップアップ研修

11月2日（木）に今年度の社会教育主事講習受講者を含めた社会教育主事有資格者を対象に、標記研修を実施しました。



講師は、NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク代表理事 岩井 俊宗氏をお招きし、「人と人がつながり創るまちづくり ～地域の視点から学校と地域の連携・協働を考える～」を演題として御講話いただきました。

学校と地域が一体となって作りあげるイベントの紹介では、「子どもたちが大人になったときに帰ってきたい学校・地域にしよう」という認識を共有することを示唆していただき、受講者にとって学校と地域の連携・協働の可能性を十分に感じさせる内容でした。受講者からは「『理想や願い』『人の思い』をもとに、地域と連携・協働することの大切さを実感した」「『ありがとう』や『お駄賃』を取り入れたシステムなどの工夫が参考になった」といった感想が寄せられました。



それいけ！

## ふれあい学習応援隊

子どもの輝く未来のために  
～自己肯定感を高める子育ての秘訣～

10月26日、宇都宮市立上河内東小学校の保護者会において、家庭教育に関するふれあい学習出前講座を実施しました。子どもの自己肯定感を高めることをテーマに、普段の子どもとの関わりを振り返りながら、子育てについて学びを深めました。



参加した保護者の方は講話を聞いて、子どもの自己肯定感を高めるためには、子どもの目線でほめることや、子どもが自分の力だけでやり遂げることなどが重要であると改めて感じていました。また、保護者同士の意見交換を通して、子育ての苦労などについて共感していました。終始、和やかな雰囲気の中で交流することで、お互いのつながりが一層強まったようでした。

皆さんの学校でも、家庭教育に関するふれあい学習出前講座を利用して、保護者の学びを深めるとともに、保護者同士のつながりを強めませんか。

## ふれあい学習に関するお問合せ先

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL 028-626-3183 E-mail: kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp